



マグロの共食いを防ぐ養殖装置の開発

キーワード マグロ、共食い、養殖、幼魚

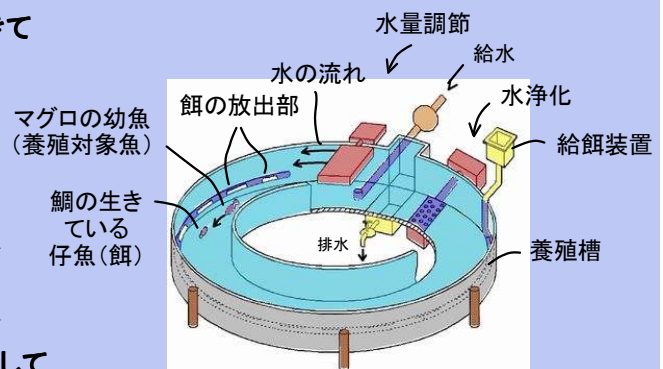
研究内容の概要： 餌の量が充分であっても共食いをするマグロの幼魚が、水の流れに沿って泳ぐという習性を利用し、その共食いを防ぐことができます。

養殖効率を向上

マグロの幼魚の円形環状養殖槽に周方向の水流を作り、放出部から水流とは逆方向に、鯛の生きている小さい仔魚を給餌する。

資源の有効利用

鯛の仔魚のうち、形状が歪んでいたたり、傷を有していて、成魚になっても商品価値のないものを、餌として利用する。



特長／効果

- マグロの共食いを防ぎ、養殖効率を向上
- 餌は、鯛の商品価値のない仔魚を選び、資源の有効利用を図る。

利用／用途

- マグロ以外の共食いをする幼魚も養殖可能
- マグロの幼魚とともに、その餌となる鯛などの仔魚よりも大きい他の魚も養殖可能

知的財産権等情報		農学部 水産学科	来田 秀雄 他1名
特許出願	特許第 4005993 号	http://nara-kindai.univ.jp/index.html	
論文等	編		

連絡先： 近畿大学 リエゾンセンター(KLC) 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1
 TEL:06-6721-2332 FAX:06-6722-0300
 e-mail: klc@itp.kindai.ac.jp URL: http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/KLC/index.html